

# 市民意識調査

## 「まちづくり」にあなたの声を アンケート結果

企画財政課企画経営室 ☎(25) 1101

市では、将来都市像を「真珠のようにきらり輝く鳥羽」とし、市民と共にめざすまちの姿として施策目標を掲げ、平成28年度から第五次鳥羽市総合計画における後期基本計画および、平成27年度から各種団体・事業所の有識者によって作成した「鳥羽市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、さまざまな事業に取り組んでいます。

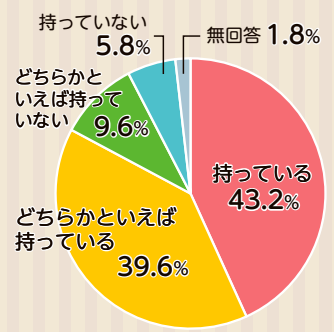
### 回答者の年代別の割合

20歳代	5.8%
30歳代	7.0%
40歳代	14.3%
50歳代	20.1%
60歳代	23.3%
70歳代	20.9%
80歳代	5.9%

アンケートを送付し、657人(32.85%)のかたから回答をいただきました。

全体で「持っている」かたは43.2%、「どちらかといえば持っている」が39.6%となり、82.8%のかたが愛着を持たれていますが、平成27年度の調査から少し下がっています。

また、地域別では長岡地区、鏡浦地区、離島地区の順で愛着を持たれているかたが高い傾向にあります。



### 鳥羽への愛着

### 市政に対する満足度・重要度

#### 重要度が高かった施策

- 1位 消防・救急体制を充実する。
- 2位 いざという時の受診体制を整える。
- 3位 安全で安定した水を提供する。
- 4位 健康づくりに対する意識を高める。
- 5位 災害から市民生活をまもる。

#### 重要度が低かった施策

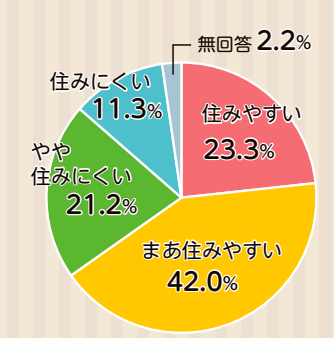
- 1位 低炭素社会への歩みを進め、地球環境をまもる。
- 2位 協働のための仕組みをつくる。
- 3位 地域づくりに歴史文化を活かす。

#### 満足度が高かった施策

- 1位 安全で安定した水を提供する。
- 2位 健康づくりに対する意識を高める。
- 3位 消防・救急体制を充実する。
- 4位 まちの美しさや機能に磨きをかける。
- 5位 地域ぐるみで子どもたちを育てる。

#### 満足度が低かった施策

- 1位 若者の地元での就職や起業を支える。
- 2位 将来性のある企業活動・ビジネスを育てる。
- 3位 目的達成型の行政経営を進める。

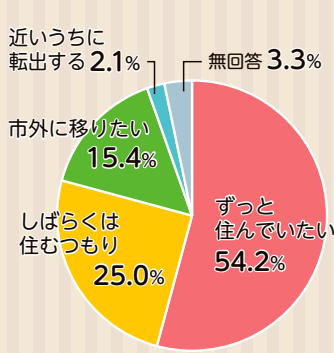


### 鳥羽の住みやすさ

23.3%のかたが「住みやすい」42%のかたが「まあ住みやすい」と答えており、21.2%のかたが「やや住みにくい」、11.3%のかたが「住みにくい」と答えており平成27年度の調査から住みにくいといったかたが増えています。

### 市政における関心事項

44.9%のかたが、市政に関心があると答えており、関心の内容は、「市税の今後の方向性」、「福祉や子どもの教育といった自分の生活に関すること」、「税金の使いみち」の順に高くなっています。



### 今後の定住について

54.2%のかたが「ずっと住んでいたい」25%のかたが「しばらくは住むつもり」を合わせ79.2%となり、平成27年度の調査と比べ5.7%下がっています。

特に20代、30代においては「交通の便が悪い」「買い物不便である」「医療・福祉が充実していない」といった理由から、「市外に移りたい」「近いうちに転出する」の割合が高い傾向にあります。